



モデル事例1 スポーツクラブと連携して子供を送り迎えする保護者を対象に子供のスキルアップを目指す「スポーツごはん塾」を開催

近年、子供をスポーツクラブの教室（水泳・体操など）に通わせる家庭が増えている。その場合、郊外地域では、保護者が車で子供をクラブに送り迎えし、子供がスポーツレッスンを受けている間、保護者はただ、終わるのを待っているケースが多いため、そんな空き時間を利用したり、クラブの正式なレッスンに組み入れたりして、保護者・レッスン者等を対象に参加者の関心事である「子供がスポーツ等でスキルアップするためには、食事がいかに大切か」について指導し、成長期の子供にとってのバランスの良い食事提供の実践を促した。

【開催場所】

NASスポーツクラブ 新鎌ヶ谷店、西船橋店、松戸店、稲毛海岸店、あゆみ野店、勝田台店、南船橋店



子供のスキルアップのためにと熱心に受講



レッスンに組み込んで保護者を対象にごはん塾開催



モデル事例2 学校の部活動と連携して、部員達に競技で勝利を目指すための「スポーツごはん塾」を開催し、日常の食事の大切さを指導

児童のスポーツチームや高等学校、大学のスポーツ部の選手強化策として、部員及び指導者を対象として、日常の食事の摂り方（特にごはんを中心としたバランスの良い日本型食生活）や試合等の前後の食事の摂り方がフィジカルやメンタルにとって重要かを伝え、選手自らの食事に対する認識の向上や自己管理の大切さを説明した。参加者は「体を強くしたい」「体を大きくしたい」「怪我をしないように」といった悩みを抱えている者が多かったため、効果的であった。

【開催場所】

北海道大学ラグクロス部、国士舘大学ラグビー部、大東文化大学柔道部、京都大学運動部合同等の大学、日大豊山高校野球部、昌平高校ラグビー部、同志社高校ラグビー部、豊橋工業高校ラグビー部等の高等学校、その他少年チーム 等



熱心に食事法を学ぶ高校ラグビー部員達



少年少女の場合は、保護者も一緒に受講



モデル事例3 プロスポーツチームと提携して、食と農に関心が薄い層に対して、プロ選手と一緒に稲刈り体験＆スポーツ指導会を開催

近年「農業体験」等の企画は増えているが、どうしても農と食に理解のある方の参加が主流となる。そのため、農にあまり興味のない方に農業体験してもらうことを目指して、プロスポーツチームとジョイントしての稲刈り体験を開催した。体験会では、最初に「ごはん塾」を開催してお米や食事について学習した後、実際の水田でプロスポーツ選手と一緒に稲刈り体験を実施、併せて「プロ選手によるスキルアップ講習」も実施し、普段、農や食に関心のない層もプロ選手のスキルアップ講座を目当てに農業体験に参加し理解を深めた。

【開催場所】

匝瑳市の提携水田、夷隅市の提携水田（提携チーム）プロバスケットボールチーム「千葉ジェッツ」



憧れのプロバスケット選手と一緒に稲刈り体験



稲刈りに子供達を対象に、お米の生学を開催



モデル事例4 自社の精米工場において、お米の精米過程について体験を交えたごはん塾を開催。お米についての関心・興味を高める

お米マイスターならではの「自社の精米工場」を活用し、児童や保護者を対象に日頃あまり見ることでできない精米工場に参加者を招き、米作り、低温保管、精米工程、商品づくり、出荷までの過程を説明し、併せて、米担ぎや低温保管の体験、昔ながらの瓶つき精米体験を行い、お米に対する興味を高めた。

また、併せて、炊きたてご飯を用いて料理や食事についての説明も行い、「ご飯好き」の児童を育成するのに効果的であった。

【開催場所】

広島県、鳥取県お米マイスター所有精米工場 等



最新の精米工場を体験し、性能に驚き



最新精米機を見学した後は、自分達で体験